

経 済 産 業 省

25商ガ安第14号

平成25年11月22日

一般社団法人 全国LPガス協会

経済産業省 商務流通保安グループ ガス安全室

建設工事等におけるガスパイプ損傷事故の防止について（協力依頼）

標記の件について、今般、当省では、ガス事故における他工事事故の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全課建設安全対策室長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

なお、再発事故防止の観点から、貴団体においても傘下の事業者等に対し、以下の事項の周知を行って頂きますようお願いいたします。

- ・他工事業者に対し、工事を施工する前には必ずガスパイプ等についてガス事業者又は液化石油ガス販売事業者等に照会・確認するとともに、ガスパイプを見つけた場合は、必ずガス事業者又は液化石油ガス販売事業者等に連絡すること等について、周知を行うこと。
- ・必要に応じて他工事の際に立ち会うこと。



経 済 産 業 省

25商ガ安第14号

平成25年11月22日

厚生労働省労働基準局安全衛生部

安全課建設安全対策室長 野澤 英児 殿

経済産業省 商務流通保安グループ

ガス安全室長 大本 治康

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス（都市ガス及び液化石油ガスをいう。以下同じ。）事故のうち、ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者がガス管等の近傍で行う工事（以下「他工事」という。）の際、建設工事等の作業者がガス管を損傷することにより、自ら負傷し、又はガス供給支障を起こすなどの事故が、平成20年から平成24年の5年間で計376件、年平均で約75件発生しており、ガス事故全体の中でも毎年1割以上を占めるとともに、45名の負傷者を生じさせています。平成25年は、10月末現在で、他工事事故は57件発生し、10名の負傷者が出ております。

平成25年2月には、内装工事を行っていた業者が、ガスが止まっていると思い込み、電動のこぎりで内管を切断し、ガスを漏えいさせる事故が発生しています。この業者は、内管をプラグ止めにて応急措置を行い、作業を続けたため、火災が発生し、2名が負傷する事故に発展しました。また、平成25年10月には、改築工事を行っていた建築業者が、駐車場造成のためバックホーを使用中にガス管を損傷し、さらに電動サンダーによりそのガス管を切断しようとしたために着火して、2名が負傷する事故が発生しております。

事故の原因としては、工事の際にガス事業者に事前照会をしなかったため、ガス管の存在を知らずに作業したこと、目的の配管と誤ってガス管を切断したこと、ガス漏えいの処理を自ら行おうとし、誤った対応をして着火させてしまったこと、ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまったこと、ガス事業者への事前照会を行っていたものの、その内容を現場作業員に知らせていなかったこと、など基本的な事項を守っていなかった

事案が多いことが認められます。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止のため、他工事に係る事業者等に対し、以下の要請を行ってくださいますようお願いいたします。

- ・ 工事前には、ガス事業者には、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者には立会を求めること。
- ・ ガス事業者には照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・ 敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・ 工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者には連絡すること。
- ・ ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者には連絡すること。

(添付資料)

- ・ 参考資料 1 平成 24 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・ 参考資料 2 平成 25 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・ 参考資料 3 他工事業者向けパンフレット

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/use/pdf/koji_2012.pdf

(参考) 最近の他工事によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移

ガス事故（他工事）件数	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	計
ガス事故件数	532	490	587	692	727	3,028
うち、都市ガス	298	305	383	467	473	1,926
液化石油ガス	234	185	204	225	254	1,102
他工事事故件数	67	62	78	76	93	376
うち、都市ガス	46	46	61	61	70	284
液化石油ガス	21	16	17	15	23	92
うち事前照会無し	42	41	60	52	52	247
*不明（外数）	10	9	8	7	0	34
他工事による負傷者数	7	6	7	16	9	45

(経済産業省ガス安全室調べ)

経 済 産 業 省

25商ガ安第14号

平成25年11月22日

国土交通省土地・建設産業局

建設市場整備課長 屋敷 次郎 殿

経済産業省 商務流通保安グループ

ガス安全室長 大本 治康

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス（都市ガス及び液化石油ガスをいう。以下同じ。）事故のうち、ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者がガス管等の近傍で行う工事（以下「他工事」という。）の際、建設工事等の作業者がガス管を損傷することにより、自ら負傷し、又はガス供給支障を起こすなどの事故が、平成20年から平成24年の5年間で計376件、年平均で約75件発生しており、ガス事故全体の中でも毎年1割以上を占めるとともに、45名の負傷者を生じさせています。平成25年は、10月末現在で、他工事事故は57件発生し、10名の負傷者が出ております。

平成25年2月には、内装工事を行っていた業者が、ガスが止まっていると思い込み、電動のこぎりで内管を切断し、ガスを漏えいさせる事故が発生しています。この業者は、内管をプラグ止めにて応急措置を行い、作業を続けたため、火災が発生し、2名が負傷する事故に発展しました。また、平成25年10月には、改築工事を行っていた建築業者が、駐車場造成のためバックホーを使用中にガス管を損傷し、さらに電動サンダーによりそのガス管を切断しようとしたために着火して、2名が負傷する事故が発生しております。

事故の原因としては、工事の際にガス事業者に事前照会をしなかったため、ガス管の存在を知らずに作業したこと、目的の配管と誤ってガス管を切断したこと、ガス漏えいの処理を自ら行おうとし、誤った対応をして着火させてしまったこと、ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまったこと、ガス事業者への事前照会を行っていたものの、その内容を現場作業員に知らせていなかったこと、など基本的な事項を守っていなかった

事案が多いことが認められます。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止のため、他工事に係る事業者等に対し、以下の要請を行ってくださいますようお願いいたします。

- ・ 工事前には、ガス事業者には、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者には立会を求めること。
- ・ ガス事業者には照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・ 敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・ 工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者には連絡すること。
- ・ ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者には連絡すること。

(添付資料)

- ・ 参考資料 1 平成 24 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・ 参考資料 2 平成 25 年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・ 参考資料 3 他工事業者向けパンフレット

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/use/pdf/koji_2012.pdf

(参考) 最近の他工事によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移

ガス事故(他工事)件数	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	計
ガス事故件数	532	490	587	692	727	3,028
うち、都市ガス	298	305	383	467	473	1,926
液化石油ガス	234	185	204	225	254	1,102
他工事事故件数	67	62	78	76	93	376
うち、都市ガス	46	46	61	61	70	284
液化石油ガス	21	16	17	15	23	92
うち事前照会無し	42	41	60	52	52	247
*不明(外数)	10	9	8	7	0	34
他工事による負傷者数	7	6	7	16	9	45

(経済産業省ガス安全室調べ)

平成24年の建設工事等におけるガス損傷事故

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/16	岩手県	改装工事	都市ガス	0	マンション1階店舗の工事業者が、マンション住居に至る当該内管の系統遮断バルブを誤って遮断したことから、63戸の住居の供給支障が発生した。なお、当該工事について、ガス事業者に事前の連絡はなかった。
1/18	神奈川県	排水工事	都市ガス	0	集合住宅の1階排水工事中にコンクリートカッターで灯外内管(50A)を損傷したことによりガスが漏洩、消防による市道100mを交通規制及び住民15名の避難誘導を行った。損傷箇所は外面テープ巻にて応急措置済み。
1/19	大阪府	建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)が敷地内建築工事中、地盤改良機にて埋設灯外内管(不使用管)を破損。消防にて付近道路の交通規制(25分間)を実施。
1/21	東京件	解体工事	LPガス	0	共同住宅において、解体工事業者から建物解体中に配管をサンダーで切断したところ引火したとの連絡を受け販売事業者が出動した。 原因は、解体工事業者が建物の周りに容器が設置されていなかったことから供給設備が既に撤去されたものと誤った判断をしたため、配管を切断したものの。 なお、解体前に販売事業者へ事前の連絡もしていなかった。 (バルク貯槽 980kg×1基)
1/23	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)が、水道工事後の復旧手直し工事中、カッター切りにて埋設供給管(低圧・不使用管)を破損。消防・警察にて付近道路の交通規制及び住民36名の避難(何れも45分間)を実施。
1/26	北海道	除雪作業	LPガス	0	一般住宅において、雪降ろし業者から、不注意により氷の塊を含んだ大量の雪氷がメーター上部に落下し、ガスが漏えいしたとの通報を受け、販売事業者が出動し、状況を確認した。 原因は、雪下ろし時の雪氷がメーターのユニオン部分を損傷したものの。
1/27	茨城県	水道工事	LPガス	0	道路において、水道工事業者が掘削作業中にガス配管を損傷したとの連絡を受け、販売事業者が出動し、損傷を確認した。 原因は、水道工事業者が販売事業者との打ち合わせなく工事を行い、埋設供給管の溶接分岐部分を損傷したものの。
1/27	兵庫県	敷地内造成工事	都市ガス	0	他工事業者(宅地造成業者)が敷地内造成工事中、ユンボで埋設灯外内管を破損。消防により付近道路の交通規制(25分間)を実施。
1/28	北海道	除雪作業	LPガス	0	共同住宅敷地内において、除雪業者が除雪重機を操作中、配管に接触した可能性があるとの通報を受け、販売事業者が出動し、バルク貯槽収納庫から露出した供給管のソケット部が損傷していることを確認した。 原因は、除雪業者が除雪作業中重機ボディーを地上高10cmの露出供給管に接触させたことにより、ソケットのネジ部が折損したものの。
2/1	北海道	除雪作業	LPガス	0	一般住宅において、住人からガスが出ないと連絡を受け、販売事業者が出動したところ、雪に埋もれた供給設備に設置された容器が2本とも空になっており、供給管立ち上がりの継手部が損傷していることを確認した。 原因は、前日に屋根改修工事業者が雪下ろしをしており、作業終了後からガスが出なくなったことから、雪下ろし時に屋根から落とした雪の重みで供給管が損傷したものと推定される。
2/11	新潟県	除雪作業	LPガス	0	一般住宅において、ガスメーターが合計・増加流量遮断したとの情報が保安機関に入り、販売事業者が出動したところ、屋根の除雪を行っていた業者が重機で配管を損傷したことを確認した。 原因は、当該住宅の容器置場には小屋根が設けられていたが、除雪業者が不注意で重機の操作を誤り、小屋根を損傷してその下に設置されていたガスメーターを押し下げたことで配管に過大な力が掛かり、継手部を損傷しガスが漏えいしたものの。
2/17	東京都	解体工事	都市ガス	0	店舗解体中に灯外内管を折損し、消防よりガス臭気通報があり、現場に到着すると交通規制(幅員5m、延長25m)がされていた。規制時間8時00分～8時05分
2/17	広島	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者より工事時にガス管を破損したと通報あり。現地到着後、破損した本支管 PE80 をスクイズオフにて遮断。33戸に供給支障が発生した。

2/20	静岡	水道工事	都市ガス	0	他工事(水道管入替工事)施工において、監督者立会いのもと重機による掘削作業中、重機オペレーターが監督者の指示通り作業を行わなかったため、本管(PE管)分岐部分の継手に重機バケットが引っ掛かり、継手部が破損しガスが漏洩した。すぐにバルブを閉止した結果、52戸(複数の建物)の供給支障となった。
2/20	北海道	除雪作業	LPガス	0	一般住宅において、ガス臭がするとの通報を受け、販売事業者が出動し、状況を確認した。原因は、雪下ろし業者が屋根の雪下ろしをしていたところ、誤ってメーターユニオンを損傷させ、ガスが漏えいしたものの、なお、当該供給設備は合板で保護してあったものの、大量の雪のため保護できなかった。
2/21	京都	建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)が、マンション建築に伴う道路舗装工事中、カッター切りにて埋設供給管(低圧・不使用管)を破損。消防にて付近道路の交通規制(73分間)を実施。
2/21	福岡県	改装工事	都市ガス	0	需要家宅内駐車場の改装工事中(他工事)、灯外内管(白管25A)を損壊させた。緊急出動した警察、消防が周辺市道(約60m間)を4時間通行止めした。
3/1	北海道	除雪作業	LPガス	0	一般住宅において、雪下ろし業者から屋根の雪が落ちてガス設備を破損し、ガス臭がするとの通報が消防にあり、販売事業者が出動したところ、ガスの漏えいを確認した。原因は、雪下ろし業者が誤って雪を金属製の容器庫に落としたことで変形したフレームが、調整器のユニオン継手部を押したため損傷し、ガスが漏えいしたものの。
3/1	愛知県	水道工事	都市ガス	1	水道工事業者が水道メータボックス取替えの作業中に民地内のコンクリート土間下に配管されていた灯外内管をエンジンカッターで損傷させた。ガス漏れを止めようとして、小型ブレーカーを使用してコンクリートのハツリ作業を行ったところ、漏えいしたガスに着火し配管工が負傷した。
3/5	東京都	改修工事	都市ガス	0	マンション改修工事中に配水管業者が路面カッターにて灯外内管を損傷させたため、引き込み管遮断バルブを閉止。51件の供給支障が発生した。
3/12	埼玉県	解体工事	都市ガス	0	消防より他工事(解体現場)にてガス管損傷の通報があり出動したところ、消防・警察にて市道(幅5.5m、延長145m)を交通規制していた(35分間)。
3/15	滋賀	側溝工事	都市ガス	0	他工事業者(土木業者)が側溝改修工事中にバックホーにて埋設供給管(不使用管)を破損。消防・警察にて付近道路の交通規制(37分間)を実施した。
3/17	東京都	地盤調査工事	都市ガス	0	地盤調査事業者より、調査中ガス管を損傷したとの通報を受け。現場到着時ガス臭気が強いとため、消防へ出動要請した。歩車道区分なしの私道、幅員3m延長37mを15時35分～16時00分の間25分間通行止めを実施。
3/22	東京都	廃棄工事	都市ガス	0	廃棄業者が教室から実験台を搬出しようとした際、誤って露出している白ガス管に引っ掛けてガスを漏出させた。大学側が即座に分岐バルブを閉止させたが、ガス臭が残っていたため14時45分から15時15分の間、消防が50人を避難誘導させた。
4/2	東京都	整地工事	都市ガス	0	新築工事現場、整地中ユンボにてガス管を損傷したとの通報を受け出動。警察にて交通規制(歩車道区分なしの区道、幅員3.7m延長130mを17時05分～17時50分の間45分間通行止め)を実施。
4/6	北海道	解体工事	都市ガス	0	他工事業者が、塀を撤去作業中に誤ってガス管を損傷、アセチレンバーナーで塀の鉄筋を切断しようとしたところ、漏えいしたガスに着火し、付近の道路の交通規制が行われた。
4/6	福井県	整地工事	都市ガス	0	他工事業者(整地業者)が敷地内整地工事中、バックホーにて整地場所の隣家の埋設灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防・警察にて前面道路の交通規制(45分)を実施した。破損の原因は、隣家の灯外内管が境界線を越えて、整地場所へ越境していたため、整地業者がそれに気付かずバックホーで当該ガス管を破損したことによる。
4/21	東京都	改装工事	都市ガス	0	改装工事会社より改装工事中にガス管を破損した通報を受け確認したところ、消防・警察により交差点付近道路の全面交通規制が行われていた(西側:幅員4.7m延長45m、南側:幅員6.5m延長25m、北側:幅員6m延長30m)。灯外内管(白管:25mm)の破損部撤去及び分岐部プラグ止めに修理済み。

4/25	大阪	下水道工事	都市ガス	0	他工事業者(下水道工事業者)が下水道工事中にバックホーにて埋設支管(低圧)を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。
4/25	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体業者)が家屋解体作業中、落下した瓦礫が敷地外で切断していた供給管(不使用管)上に落ちて破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制及び付近住民7名の避難を実施した。
4/26	大阪	整地工事	都市ガス	0	他工事業者(基礎工事業者)が造成地内整地工事中、掘削機にて埋設灯外内管を引抜いたことにより、埋設灯外内管(未使用管)を引っ掛けたため、埋設供給管(低圧)取出し部を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制を実施した。
5/10	岡山県	下水管工事	都市ガス	0	設備業者が需要家敷地内にて下水配管工事時にガス管(灯外内管)を舗装カッターで破損した。業者はガス事業者に通報後、破損部分を止めようと、管を露出させるために地面のコンクリートをハツているうちに漏えいガスに引火させ、消防が出動し消火した。出動したガス会社がガスの漏出を止める作業を行う約30分間、警察が前面道路を交通規制した。
5/26	兵庫県	下水道工事	LPガス	0	空き地において、隣地住人がゴミ焼却をしていたところ、埋設されていたポリエチレン管が熱により溶け、漏えいしたガスに引火し、火災となった。原因は、過去に当該敷地内で下水工事を行った際、工事業者が十分な覆土を行わなかったため、埋設深度が浅くなっていたもの。なお、ポリエチレン管敷設当初は、地盤面下40cmに埋設されていた。
6/7	三重県	改修工事	都市ガス	0	リフォーム業者が建物改修中に休止と思われた白管をガス溶断したところ、漏えいしたガスに着火し、近くにあった散水用配管の保温材一部が焦げた。
6/12	熊本県	草刈り等	都市ガス	0	需要家が庭の植木の手入をしている際にガス管をスコップで損傷させて当社と消防署に連絡をしたが先に到着した消防署が特定製造所のバルブを閉止して全戸(172戸)供給を停止させた。
6/15	宮城	下水道工事	都市ガス	0	下水道工事の際、工事会社がガス管が埋設されていることを知らずに作業をしたためガス管を損傷し、ガスが漏えいした。バルブ止めにより75戸程度の供給支障が発生した。
6/18	神奈川県	排水管取替工事	都市ガス	0	設備工事業者が配水管取替え工事時にガス管を損傷し、引き込み管ガス遮断装置を閉止したことにより当該建物30件の供給支障が発生した。
6/22	青森	街頭取替工事	都市ガス	0	電気工事業者が街灯取替工事の為、ボーリング掘削作業中(400mm程のドリル)本支管に接触し、ガスが漏洩し、120戸が供給停止した。
6/26	愛知	電柱設置工事	都市ガス	1	建柱作業のための試掘作業を行っていた他工事業者から、ブレーカーによるはつり作業中に供給管を損傷し、着火したとの通報があった。このため、現地調査したところ、作業員1名が火傷(軽度)を負った。
6/28	和歌山県	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体業者)が敷地内整地作業中にバックホーにて埋設灯外内管(不使用管)を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制(77分間)を実施した。
6/30	山口県	電化工事	LPガス	2	一般住宅において、電化工事業者がガス管の切断作業をしていたところ、爆発が発生し、作業員2名が軽傷を負った。原因は、販売事業者が中間ガス栓の先端をプラグ止めて電化工事業者に配管撤去の作業を引き継いだところ、作業員が誤ってガスが通じている中間ガス栓の上流側を切断してしまい、漏えいしたガスに切断作業の火花が引火して爆発に至ったもの。なお、メーターと配管の撤去作業について、販売事業者と消費者との打合せは行っていたが、電化工事業者の打合せは行われていなかった。
7/12	福岡	下水道工事	都市ガス	0	下水道工事業者が道路を掘削中、誤って本支管(PE管50mmφ)を損傷、連絡を受けたガス事業者が現地へ急行し、ガス漏えいを止め、末端の38戸が供給支障となった。下水道工事業者は、ガス事業者の立会を失念していた(事前照会はしていた)。
7/14	東京都	改装工事	都市ガス	0	消防より、リフォーム工事中ガス管を損傷し着火したとの通報を受け、現場到着時、消防にて消火及び現場前面道路を交通規制、近隣住民15名を道路路上に避難誘導。避難時間12分、交通規制50分(幅員5m延長65m)

7/17	愛媛県	改修工事	LPガス	0	一般住宅において、住宅リフォーム業者が当該住宅のベランダの基礎部分を撤去していたところ、埋設されていたガスを損傷してガスが漏えいし、工具の火花が引火して火災となった。 原因は、住宅リフォーム業者は埋設管が設置されていることを認識せずに工事を行っていたため、供給管を損傷したものの。
7/24	鳥取県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体業者よりガスを損傷したとの連絡を受け、販売事業者が出動し、埋設供給管が損傷していることを確認した。 原因は、解体業者がリフォーム工事のため重機で作業を行っていたところ、ガスの埋設状況を確認しないまま掘削したことにより、埋設供給管を損傷したものの。
7/25	長野県	建設工事	LPガス	0	市道において、土木建設工事業者がU字溝の入替工事のため掘削をしていたところ、埋設された供給管を損傷し、販売事業者が出動して容器バルブを閉め、ガスの漏えいを止めた。 原因は、工事業者が掘削の際に、ガス管が見えているにもかかわらずギリギリのところまで重機により掘削しようとしたため、誤って重機で引っかけてしまい、供給管が損傷し、ガスが漏えいしたものの。 なお、配管図面は事前に販売事業者から工事業者へ提供されていたが、工事日等の連絡はなく、打合せ不足であった。
7/26	北海道	建築工事	都市ガス	0	他工事業者が建物基礎工事に伴い敷地内を掘削、灯外内管を損傷させたものと推定(13:00頃)。隣建物LPGガス供給業者からガス事業者へ通報(20:10)。消防による交通規制(20:45～21:27)
7/30	東京都	地盤整備工事	都市ガス	0	一般集合住宅(公団住宅)敷地内の地盤整備工事中、ガスを損傷したとの連絡を受け確認したところ、当該敷地内の灯外内管(PE管、75mm)が損傷していたため引き込み管ガス遮断装置を閉止した(17時01分)。これに伴い48戸の供給支障となった。
7/31	大阪府	解体工事	都市ガス	0	解体業者より「解体工事中ガス管破損、臭気あり」で受付、緊急出動。南北道路交通規制(幅員:10m、延長:50m) 家屋解体工事中に掘削機により不使用灯外内管(塩ビライニング鋼管)80mを破損したものの。 交通規制。(14時30～14時55分 25分間)破損箇所確認。粘土・テープで応急手当済み。敷地内で80m切断カッパ済み
8/5	東京都	改装工事	LPガス	0	共同住宅において、改装工事業者から工事中にガスを損傷したとの連絡が都市ガス事業者を経由して販売事業者に入り、現場へ出動したところ、壁内隠蔽部の供給管が損傷していることを確認した。 原因は、改装工事業者が壁の掃除をしたところ壁が崩れ、その際に供給管が損傷したものと推定されるが、物件自体がかなり古いため、供給管の腐食劣化も原因の一つと考えられる。
8/5	茨城県	外構設置工事	都市ガス	0	オール電化住宅の外構工事業者より消防にガスを破損したとの連絡が入り、消防が特定製造所にてガスを止めたため、33戸の供給支障となった。ガス事業者が現場に出動し、破損箇所を補修するも、消防が安全確保のため散水した水がガス管内に入っているため、ポンペによる仮設供給を実施。
8/14	大阪府	雨水溝設置工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がマンション1階駐輪場での雨水溝設置工事中にコンクリートドリルにて埋設灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制(74分間)を実施した。また、応急措置のため、当該マンションのサービスバルブを閉止したため11戸に供給支障が生じた。
8/27	大阪	外構設置工事	都市ガス	0	他工事業者(外構工事業者)が駐車場のボール設置工事中にプレーカーにて埋設支管を破損。消防にて周辺道路の交通規制(44分間)を実施。
8/30	福岡県	水道工事	都市ガス	1	アパートの水道工事において、水道工事作業員がパイプシャフト内のコンクリートスラブをピックで掘削中、灯外内管(白ガス管、40mmφ)を損傷させ、ガスが漏えい、着火し、作業員が火傷した。
8/31	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	解体工事中にガスを損傷したとの連絡を受け確認したところ、整地中コンボにて不使用供給管を引き抜いてしまっていた。出動を要請した消防により市道(幅員6.5m、延長100m)を交通規制した(55分間)。
9/1	茨城県	電気工事	LPガス	0	一般住宅において、電気工事業者から容器に穴を開けたとの通報を受け、販売事業者が出動して容器を安全な場所へ移動させてガスを大気放出し、ガス検知器でガスが残っていないことを確認して容器を回収した。 原因は、電気工事業者が施工場所の状況を良く確認せずに屋内からドリルで壁の穴開け作業を行ったため、ドリルが壁を貫通し、屋外に設置されていた50kg容器に穴を開け、ガスが漏えいしたものの。

9/3	福岡件	解体工事	都市ガス	0	ビル解体工事において、解体業者が鉄骨切断機を使用中、誤って露出ガス管(100mmφ、白ガス管)を破損し、ガスが漏えい。出勤した消防により、近くのコンビニエンスストア従業員及び買物客約8名が避難した。ほぼ同時に現場入りしたガス事業者により、引込管ガス遮断装置の閉止及び応急工事が実施され、避難時間は65分。
9/19	香川県	改修工事	都市ガス	0	リフォーム時に、隣接している空き家へ送るメーターの外されたガス供給管を電動工具で切断し、引火したガスに着火して全焼した。 負傷なし
9/19	兵庫	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者(電話工事業者)が電柱建替工事中にオーガーにて埋設支管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制(1時間52分)を実施した。
9/25	宮崎県	建設工事	LPガス	0	弁当店の隣地において、建設工事業者が工事を行っていたところ、作業ミスにより配管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、重機を操作していた作業員の操作ミスにより、重機アームが外壁、配管及び給湯器を損傷したため。
9/26	神奈川県	改装工事	都市ガス	0	設備工事業者が、ボイラー室内のLPKS40mm灯内内管を誤ってパーナーで切断したため漏えいしたガスに着火した。
9/27	静岡県	電柱設置工事	都市ガス	0	住宅新築工事に伴う仮設電柱設置工事において、電柱掘削用の大型パールにより 灯外内管(PE管30mm)を損傷させたもの。着火は無し。 通報を受けた消防・警察により、100mの区間で交通規制を行った。同日16時頃復旧済。
9/27	滋賀県	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(宅地解体業者)が宅地解体工事中にユンボにて灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路(延長100m)の交通規制(55分間)及び住民避難(4名)を実施した。人損・物損はなく、交通規制解除済み。 なお、その際、他工事業者は、ガス管の他水道管も破損させており、その水道管から漏水した水がガス管の破損箇所から流入したため、16件の供給支障も発生した。
10/3	北海道	下水道工事	都市ガス	0	住宅建築現場で下水道掘削工事中にガス供給管を引っかけ切断した。隣家の住人が消防に通報し、消防・警察により付近住民の避難交通規制が行われた。事業者は、消防からの通報により覚知。(自主避難・交通規制15:15～18:04)
10/8	東京都	改装工事	都市ガス	0	銀座Kビル1階床のコンクリートハツリ作業中に灯外内管(PLP、40mm)を損傷した。漏れたガスに着火するも消火器で消火。火災認定は無し。消防にて同ビル8階の従業員1名を避難させたもの。
10/11	福岡県	外構設置工事	都市ガス	1	外構工事時に、重機にて掘削中に灯外内管を折損したが、それに気付かず掘削溝内でハツリ作業時の火花が着火し、作業員が火傷を負った。
10/17	兵庫	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者(電話工事業者)が電柱建替工事中にオーガーにて埋設供給管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制(1時間57分)を実施した。当該他工事業者とは、事前協議を行い、ガス管位置の周知及びガス管付近は手掘りにて位置確認を行ったうえで建替工事を行うよう依頼していたが、オーガーの影響範囲に対して、試験掘り範囲が不十分であったため、破損に至った。
10/18	富山県	改修工事	都市ガス	2	建物内設備改修工事において該当建物の1階トイレ天井内のガス管の切断作業を電動工具を用いて行ったところ、滞留したと思われるガスに着火、解体作業員2名がやけどを負った。
10/22	東京都	水道工事	LPガス	1	旅館において、水道工事業者が漏水修理を行っていたところ、火災が発生し、作業員1名が軽傷を負った。 原因は、宿直室床下の隠ぺい配管が竣工図では水道配管と記されており、作業員が水道配管と認識して誤ってガス配管を切断したため、ガスが漏えいし、切断時の火花が引火したため。
10/22	京都	道路工事	都市ガス	0	他工事業者(道路舗装工事業者)が水道工事跡の本復旧工事中、バックホーにて埋設供給管(不使用管)を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制(49分)を実施した。
10/26	滋賀	道路工事	都市ガス	0	他工事業者(道路舗装工事業者)が舗装工事中にアスファルトカッターにて埋設供給管を破損。消防・警察にて周辺道路の交通規制(40分間)を実施した。

10/27	京都	道路工事	都市ガス	0	他工事業者(道路舗装工事業者)が舗装工事中にカッター切りにて埋設供給管を破損。消防にて周辺道路の交通規制(53分間)を実施した。
10/28	神奈川県	空調工事	LPガス	0	学校において、空調工事業者が掘削工事を行っていたところ、作業ミスによって配管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、作業者が図面等によってガス配管の経路確認を怠ったため、掘削作業中に重機が誤って配管に接触し、損傷したものの。
10/29	東京	造成工事	都市ガス	0	解体業者より屋外でガス臭との通報を受け、現場確認すると屋外で強い臭気を確認、消防に出動要請を行った。消防により市道、一方通行道路全面通行止め(幅員6.0m延長130m)私道(幅員3.0m延長90m)を交通規制を行った。規制時間 11時50分～13時 70分 原因は、当該支管の周辺にて造成工事を実施していたことから、造成工事中に何らかの過大な力が支管に加わり、当該支管が損傷し漏洩に至ったと推定。
10/31	福島	造成工事	都市ガス	0	ガス事業者が私有地の敷地内に許可を得てガス管を埋設したものの、土地の所有者が私有地を売却する際に、売却先にガス管の埋設を知らせていなかったために、他工事業者による団地造成工事においてガス管を損壊したことから88戸の供給支障が発生した。事前照会は無かった。
11/2	滋賀県	建設工事	都市ガス	0	他工事業者(土木工事業者)が駐輪場建設に伴う敷地内整地作業中にバックホーにて灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防・警察にて周辺道路の交通規制(50分間)を実施した。
11/3	島根県	建設工事	LPガス	0	学校において、建設工事業者が廊下等のバリアフリー化工事を行っていたところ、作業ミスによって配管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、工事について販売事業者への連絡が無く、作業者に埋設配管の認識が無いまま工事が行われたため、コンクリート床面の切断時に埋設された配管継手部を損傷し、ガスが漏えいしたものの。
11/5	宮城	下水道工事	都市ガス	0	需要家よりガスが出ないという通報があり、現場で確認したところ、アパートの19号棟から20号棟の一般需要家、約40戸のガス供給が停止していることを確認した。原因は、下水道災害復旧工事でボーリング作業中に供給管を損傷したもので、事前照会があった際に導管図面を渡してガス管付近の工事を行う際には連絡してもらおうことにしていたが、連絡がないまま工事が行われた為に発生した。
11/8	神奈川県	電柱設置工事	都市ガス	0	消防より火災通報を受け確認したところ、電気工事「建柱工事試掘」に伴い舗装カッター施工中、灯外内管(PE管、30mm)を損傷し噴出したガスに引火・着火し隣家の網戸が焼損していた。
11/14	岡山県	下水道工事	LPガス	0	一般住宅のある団地内敷地において、下水道工事業者が掘削作業を行っていたところ、作業ミスによって供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、下水工事業者が現場に埋設供給管があることを認識せずに工事を行ったため、掘削作業中に重機が埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。

11/14	京都府	電気工事	都市ガス	1	他工事業者(電機工事業者)が、ガスメーターが撤去された旧需要家の住宅改装工事において、メーター周りの立て管をガスが通じていないと思い込みサンダーにて切断、漏れたガスにサンダーの火花が着火し、作業員1名が左下腿部及び手のひらに軽傷を負い、住宅の樋及び車庫屋根の一部を熱損した。消防による火災認定有り。
11/19	広島県	改装工事	LPガス	0	飲食店兼住宅において、近隣住人よりガス臭がするとの連絡を受け、販売事業者が出動したところ、容器と高圧ホースの接続が外れており、近隣の都市ガス事業者によって容器バルブが閉じられていることを確認した。原因は、飲食店側の改装工事を請け負った改装工事業者が、工事のために、自動切替式調整器に接続されていた2本の容器のうち使用側の容器を高圧ホースから取り外したあと切替え操作を行わなかったため、予備側からの供給に切り替わって調整器内部で使用側と予備側が通じたことで、容器と接続されていない高圧ホースの先端からガスが漏れ出したもの。
11/29	兵庫県	建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築業者)がマンション建築工事中、矢板打設時に埋設灯外内管を破損。ガスが漏れ出したため、消防にて周辺道路の交通規制(166分間)を実施した。なお、事前協議を行っていたが、当該管は事前協議に用いた図面には載っていない不使用の不明管であった。
11/29	京都	道路工事	都市ガス	0	他工事業者(舗装工事業者)が道路舗装工事中、カッター切りにて埋設供給管を破損。ガスが漏れ出したため、消防にて周辺道路の交通規制及び付近住民13名の避難(何れも103分間)を実施した。
12/2	東京	下水道工事	都市ガス	0	下水U字溝底部のコア抜き作業を行った際に真下に敷設してあったねずみ銑鉄管(100mm)を損傷し、出動した消防・警察にて付近道路(長さ約40m、幅(車道5m+歩道1.3m×2))の全面が交通規制されたもの(4時間3分)。
12/11	東京都	水道工事	都市ガス	0	設備工事業者が給水管工事の際、コンクリートカッターにてプラスチック被覆鋼管(灯外内管32mm)を損傷した。引き込み管ガス遮断装置を閉止したことにより43件の供給支障が発生した。
12/11	千葉県	解体工事	都市ガス	0	消防より敷地内他工事施工者が建物解体中にガス管を損傷し引火したとの連絡を受け出動したところ、解体中家屋の火災(外壁一部焼損)を確認した。敷地境界近傍の配管露出部にてプラグ止め、漏えいを遮断。
12/13	神奈川県	建設工事	都市ガス	0	掘削機械にて整地中に灯外内管を損傷しガス漏洩、消防及び警察にて交通規制を行った。幅員6m 延長80m 規制時間 14時48分～15時43分 報道無し。人損無し。
12/14	神奈川県	建築工事	都市ガス	0	建築事業者よりコンクリートはつり中にガス管を損傷したとの通報を受け、現場に到着するとPLP25mm灯内内管をyunpoにて折損していることを確認、なお、メーターガス栓は閉止済みであった。建築事業者により先生4名、園児78名の合計82名を近くの公園へ避難させた。
12/16	大阪	下水道工事	都市ガス	0	他工事業者(下水道工事業者)が道路掘削作業中に、バックホーにて埋設支管を破損。ガスが漏れ出したため、消防にて周辺道路の交通規制(94分間)を実施した。なお、当該工事業者とは事前協議を行い、ガス管位置の周知及びガス管付近は手掘りにて位置確認を行った上で工事を行うよう依頼していたが、ガス管標示位置の近傍でバックホーによる掘削作業を行った。
12/19	大阪	下水道工事	都市ガス	0	ガス事業者が他工事業者(下水道工事業者)から「工事中ガス管破損。火が付いた」との通報を受け、緊急出動したところ、下水道工事現場の水中ポンプ配線の焼損を確認。原因は、下水道取付管(宅地から下水道本管への連絡管)の非開削推進工法の推進機(300mm)により埋設供給管を破損し、漏れたガスが推進機を伝い、推進機発進立坑内に流入し、下水用鋼管溶接時の火花により着火したものと推定。供給管(2本)取り出し部をサービスバルブにてガス遮断し、別ルートにて配管。本修繕は下水道工事完了後に実施予定。消防による火災認定有り。
12/28	千葉県	解体工事	LPガス	0	空き地において、解体業者が整地を行っていたところ、埋設されていた供給管を損傷した。原因は、解体業者が、供給管が埋設されていることを知らずに整地を行ったため、建設機械で供給管を損傷し、ガスが漏れ出したもの。
12/28	北海道	除雪作業	LPガス	0	共同住宅において、除雪業者から、除雪作業中にガス管を損傷したとの連絡を受け、販売事業者が出動したところ、バルク貯槽の収納庫から埋設部につながる供給管継手部からの漏えいを確認した。原因は、作業員がバルク貯槽収納庫の周辺を重機で除雪していた際、誤って重機が露出供給管に接触して損傷し、ガスが漏れ出したもの。

平成25年の建設工事等におけるガス損傷事故

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/11	京都	建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)が新築工事における通路工事中、ツルハシにて埋設灯外内管を破損し、漏れたガスにアスファルト舗装用予熱器の火が引火。着火箇所消火器にて消火後、掘削部でバグ挿入にて応急措置を行い、同日、破損箇所取替えにて修繕済み。消防にて周辺道路の交通規制(85分)を実施した。
1/10	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)が水道工事中、カッター切りにて埋設供給管を破損。ガスが漏れ出したため、消防にて周辺道路の交通規制及び付近住民3名の避難(何れも96分)を実施した。
1/12	和歌山	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)が道路下水工事中、掘削機にて埋設供給管(不明管)を破損。ガスが漏れ出したため、消防にて周辺道路の交通規制及び付近住民5名の避難(何れも92分)を実施した。
1/14	沖縄	土木工事 駐車場整備	都市ガス	0	土木業者が駐車場整備のため、1号棟前掘り起し工事の際、PE管に気付かず接触しPE管が破損、破損部分修復のため、一時的に全世帯供給停止措置(1~4号棟、91世帯)
1/21	宮城県	解体工事	都市ガス	0	建物の解体中に敷地内に埋設されていた不明管を重機により損壊し、漏出したガスに何らかの原因で着火、警察が付近の道路の通行規制を行った。事故の原因は、導管があるにもかかわらずに十分な確認を行わず、解体業者からの事前照会に対し「埋設管は無い」と回答したため。
1/26	長野県	土木工事	LPガス	0	公共施設において、集中監視センターから合計・増加流量遮断の連絡を受け、販売事業者が出動したところ、土木工事業者が埋設配管を損傷していたことを確認した。 原因は、土木工事業者と販売事業者との連絡不足により、作業者が埋設管を把握できておらず、誤って重機で切断してしまったため、ガスが漏れ出したもの。
1/28	東京	解体工事	都市ガス	0	高校での他工事において灯内内管(白管、32mm)を誤ってサンダーで切断し、漏れたガスに引火し火災に至ったもの。天井約4平方メートルを焼損した。
2/6	福岡	水道設備 工事	LPガス	0	共同住宅において、水道設備工事業者が下水道管の入替工事を行っていたところ、ドリルで埋設供給管を損傷し、ガスが漏れ出した。 原因は、工事業者が事前に販売事業者へ工事内容の通知と配管位置の問い合わせを行わなかったため、ガス管が埋設されていることの認識がないまま工事を行い、埋設供給管をドリルで誤って損傷し、ガスが漏れ出したもの。

2/7	埼玉県	解体工事	LPガス	0	共同住宅において、解体工事業者が1階店舗の工事を行っていたところ、掘削機で埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。原因は、解体工事業者が工事前に販売事業者へ問い合わせをせず、埋設部の設備の状況が未確認だったため、また、販売業者に立ち会いの要請をしなかったため、ガス管が埋設されていることの認識がないまま工事を行い、埋設供給管を掘削機で誤って損傷し、ガスが漏えいしたものの。なお、販売事業者から他工事業者への工事の際の周知が十分ではなかった。
2/9	神奈川	内装工事	都市ガス	2	設備工事業者より内装工事中にガス管を損傷した旨の連絡を受けた。灯内内管(白管40mm)をガスが止まっていると思い電動のこぎりで切断しガスが出たためプラグ止めにて応急措置後、水道管を切断したところ滞留していたガスに着火したもの。作業員2名が火傷(軽症)にて病院で手当を受けた。火災認定有り。
2/27	広島	電気工事	都市ガス	0	マンションの電気工事を行っていた業者が、接地棒を打ち込んでいたところ、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。ガスの漏えいを止めるためにバルブを閉止したことにより供給支障となった。
2/27	埼玉	宅地造成工事	LPガス	1	造成地において、宅地造成業者が工事中に、埋設された供給管を重機で損傷し、ガスが漏えいした。その際、連絡を受けて駆けつけた販売事業者が、損傷箇所からの漏えいを止めようとしたところ、掘削した穴の中で酸素欠乏状態となり、軽症を負った。原因は、宅地造成業者が、工事現場におけるガス管の埋設状況について販売事業者へ事前の確認をしなかったため、ガス管が埋設されていることの認識がないまま工事を行い、埋設された供給管を重機で誤って損傷し、ガスが漏えいしたものの。
3/6	埼玉	道路工事	都市ガス	0	雨水管の撤去作業中、重機にて供給管を誤って損傷し、特定製造所にてガスを止めたことにより当該団地内が供給支障となったものの。
3/16	千葉	地盤調査工事	都市ガス	0	需要家宅の地盤調査を行っていた調査会社より調査箇所付近でガス臭がするとの連絡及び当該需要家より台所シンク下より出火したとの連絡を受け確認したところ、灯外内管(PE管25mm)と排水管が損傷しており、台所シンク下の収納物が一部焼損していた。地盤調査工事中にガス管と排水管を損傷し、漏出したガスが排水管を通じて台所シンク下へ流入、コンロの火に引火したものと推定。
3/26	沖縄	建替工事	都市ガス	0	当該団地は建て替え工事中であるが、重機がガス管を破損し、第2特定製造所からの供給先292地点に約2時間の供給支障が発生した。
3/28	東京	建設工事	都市ガス	0	建設工事業者が敷地内の基礎工事の杭打ち作業に伴う掘削作業の際、敷地内に埋設設置されていたガス管(灯外内管25mm)を誤って引っ掛けた結果、歩道に埋設設置されたガス管部分(供給管25mm)が損傷した。出動した消防・警察にて付近道路(延長約170m、幅員28m)を交通規制した(2時間10分)。

4/2	東京	排水管工事	都市ガス	1	商業ビル地下1階にて排水工事中、作業員がガス管(灯外内管(白管:50mm))を排水管と間違えドリルにて損傷させ、漏えいしたガスに着火したもの(未照会工事)。作業員1名が火傷を負った。
4/8	神奈川	造園工事	都市ガス	0	建物敷地内にて造園工事がコンクリートカッター施工中、誤って灯外内管(PLP:25mm)を損傷した(未照会工事)。安全面から引込み遮断バルブを閉止したことにより104件の供給支障が発生した。
4/12	神奈川	解体工事	都市ガス	0	マンション1階にて床のコンクリート剥離中、作業員がピックにてガス管(灯外内管(50mm))を損傷させ、ガスが漏えいしたもの(未照会工事)。消防・警察にて、安全面から16:03~17:00の間、住民10人の避難誘導及び前面道路(幅員4m全面、延長70m)の交通規制を実施。
4/15	大阪	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)が敷地内の下水道工事中、電動カッターにて埋設灯外内管(不使用管)を破損し、ガスが漏えい・着火した。ガス事業者にて破損箇所の上流側で灯外内管を切断・プラグ止めに措置済み。火災認定有り。
4/16	兵庫	設備工事	都市ガス	0	集合住宅において、他工事業者(設備工事業者)が、防犯カメラ設置工事のため、パイプシャフト内にてコンクリート床に電動ドリルにて穴あけ作業中、誤って共用灯外内管を破損。ガス事業者が現場到着し、応急措置のため、特装バルブを閉止したことにより、供給支障が発生した。
4/20	東京	解体工事	都市ガス	0	共同ごみ置き場の解体中、ユンボにて灯外内管(PE管:75mm)を損傷した(未照会工事)。引込み管遮断バルブを閉止したことにより37件の供給支障が発生した。
4/20	宮城	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が水漏れの修繕作業で建物外壁の切断を行っていたところ、配管用フレキ管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、当該配管用フレキ管は、建物外壁の隠ぺい部に敷設されていたため、外壁切断時に誤ってフレキ管を損傷し、ガスが漏えいしたもの。
4/22	山口	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が漏水箇所の調査のため掘削作業を行っていたところ、埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、水道工事業者は埋設供給管が近接していることを認識していたが、供給管の立ち上がり部が少し離れたところにあったため、掘削を行い、誤って供給管を損傷しガスが漏えいしたもの。 なお、水道工事業者からは、販売事業者に工事をする旨の連絡がされていなかった。
4/28	千葉県	電柱工事	都市ガス	0	消防からの通報を受け確認したところ、電気工事(仮設電柱設置工事)の際、ガス管の位置を確認せずに掘削したことで休止中の灯外内管(被覆鋼管、25mm)を損傷していた。消防・警察にて市道(幅6m、延長100m)の交通規制(43分間)を行った。

5/13	京都	建設工事	都市ガス	0	他工事業者(コインパーキング建設工事業者)が敷地内舗装カッター切り中、埋設灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制(25分)を実施した。
5/15	鳥取	土木工事	LPガス	0	空き地において、土木工事業者が道路建設予定地の埋蔵文化財調査のため、重機による掘削作業中に、埋設供給管を損傷してガスが漏えいした。 原因は、施主や土木工事業者は販売事業者への事前照会をしておらず、ガス管が埋設されていることの認識がないまま工事を行い、埋設された供給管を重機で誤って損傷し、ガスが漏えいしたものの。
5/19	福岡	空調設備工事	LPガス	0	下水道管理センターの水質試験室において、空調工事業者が空調設備のドレン配管敷設のため、コンクリート床の掘削を行っていたところ、埋設配管を損傷してガスが漏えいした。 原因は、工事業者が配管図面の確認を行っていなかったため、誤って埋設配管を損傷してガスが漏えいしたものの。
5/21	新潟	解体工事	都市ガス	0	家屋解体工事の際に、解体業者がメーター移設済みのメーター立管(灯外内管、白管、25mm)を切断機にて切断したことにより、漏えいしたガスに着火し、周囲の木材を焦がしたものの。
5/22	東京	排水管工事	都市ガス	0	マンション敷地内で他工事業者が排水工事中、電動コア抜き機で灯外内管を破損。 13:50に需要家遮断バルブを閉止し、当該マンションの61件の供給支障が発生。(未照会工事) 応急措置ののち17:33供給再開(供給支障3時間43分)。
6/1	埼玉	造園工事	LPガス	1	一般住宅において、造園工事業者が敷地内の駐車場ではつり作業を行っていたところ、埋設された供給管を損傷してガスが漏えいした。その後、連絡を受けて出動した販売事業者が供給設備の元弁を閉めたのち、工事を再開したところ、爆発が発生し、作業員が軽傷を負った。 原因は、造園工事業者が住人から埋設管の存在を伝えられておらず、また、埋設管の上部に設置されていた埋設管シートを確認せずに作業を進めたため、誤ってはずり工具で埋設管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。その後、出動した販売事業者が供給設備の元弁を閉止したが、すぐに工事業者へ作業再開を指示したため、損傷した箇所から供給管内のガスが放出されきっておらず、はずり作業の際に生じた火花が引火したものの。 なお、当該住宅は集団供給が行われているが、オール電化に転換したため供給を停止しており、埋設供給管が敷地内に残っている状態であった。
6/8	愛媛	解体工事	都市ガス	0	住宅のカーポートを撤去する工事のため掘削中にガス管を破損し、引火した。

6/15	東京	水道工事	都市ガス	0	漏水工事現場にてガス管を損傷したとの通報を受け、建物への引込み管ガス遮断装置を閉止した(供給支障51件)。消防にて住居者30名を歩道上に避難誘導するとともに、歩道を45分間規制した。原因は、水道工事会社がガス管の位置を確認せずコア抜き作業を行い灯外内管(32mm PLP)を損傷したもの。
6/20	北海道	排水管工事	LPガス	0	共同住宅において、排水管工事業者が工事作業中、埋設された供給管を損傷し、ガスが漏えいした。原因は、工事業者が排水工事のため重機で当該共同住宅の基礎の側面付近を掘り起こしていたところ、排水管近辺に埋設されていた供給管を誤って損傷し、ガスが漏えいしたもの。
6/21	東京	建設工事	都市ガス	0	建築業者より敷地内掘削工事中にガス管を損傷したとの連絡を受け確認したところ、不使用供給管(プラスチック被覆鋼管32mm)が損傷していた。消防にて付近道路(環状八号線内回り片側3車線のうち2車線100m、歩道52m)を規制し交通の困難を招来したものの(1時間55分)。
6/22	愛知	(敷地内)舗装工事	都市ガス	0	集合住宅敷地内において舗装工事会社がコンクリートカッターで切り中のところ、灯外内管を損傷した。引込管バルブを閉止したことにより111件の供給支障が発生した。
6/29	静岡	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、建物解体業者が当該住宅の解体工事を行っていたところ、埋設供給管の引込部を損傷してガスが漏えいした。原因は、埋設されたガス管の存在を建物解体業者が認識しないまま工事を行ったため、工事中に誤ってガス管を損傷し、ガスが漏えいしたもの。なお、当該住宅では集団供給が行われているが、住人は別の販売事業者と独自に契約してガスの供給を受けていたため、埋設供給管を使用していなかったことから、建物の解体に際して集団供給を行っている販売事業者へ工事の事前連絡をしていなかった。
7/8	広島	(敷地内)舗装工事	都市ガス	1	他工事にて灯外内管をサンダーで切断作業中に漏洩したガスに着火し、他工事作業員が顔面に火傷を負った。
7/9	東京	整地工事	都市ガス	0	敷地内整地工事中に建設機械にて灯外内管を引っ掛け、供給管を損傷した。消防にて付近道路(幅6m、延長約100m)を交通規制した(2時間55分)。供給管取り出し部にてプラグ止めにて復旧済み。
7/11	東京	改修工事	都市ガス	0	マンション1階の店舗改修工事の際に路面カッターにてガス管を損傷したとの連絡を受け確認したところ、当該マンションの灯外内管が損傷していたことから引き込みガス遮断装置を閉止し、43件(当該マンション)の供給支障が発生した。
7/16	東京	地盤調査工事	都市ガス	0	敷地内地盤沈下の地盤調査工事中に建設機械にて灯外内管を損傷した。消防にて付近道路(幅5m、延長約150m)を交通規制した(63分間)。スクイズオフにて遮断措置済み。

8/2	東京	下水道工事	都市ガス	0	下水道工事において、クレーンで工事機材を移動中にガス管上部に機材を落下させ、ねずみ鋤鉄管が損傷したもの。消防にて付近道路(幅員7m×延長110m、幅員5.5m×延長145m、幅員5.5m×延長145mの3区間)を規制し、交通の困難を招来したもの。交通規制時間は、2時間20分(13:15～15:35)。
8/16	滋賀	建設工事	都市ガス	0	オール電化によりメーターコックまで通ガス状態で閉栓となっていた住宅の敷地内において、カーポート工事のため他工事業者が掘削中、埋設されていた灯外内管を損傷させガス漏れが発生し、警察、消防が出動し、前面道路約50mを1時間にわたり交通規制を実施した。
8/19	東京	建設工事	都市ガス	0	消防からガス管損傷との通報を受け出動したところ、住宅敷地内の門柱工事中に電動ハンマーにて灯外内管(プラスチック被覆鋼管40mm)が損傷、消防にて付近道路(幅員6m×延長75m)が規制され、交通の困難を招来したもの。交通規制時間は、28分(11:02～11:30)。損傷管の復旧工事は15時頃に完了。
8/30	宮城県	水道管工事	都市ガス	1	水道管工事のため駐車場コンクリートの切断中に誤って灯外内管を切断しガスが漏洩した。ガス臭を感じていたがコンクリートの破碎作業を継続したところ漏出したガスに着火、作業員一名が軽傷。 事故の原因は、導管の位置想定の誤りと、ガス臭がある状態で作業を継続したこと。
9/4	神奈川	地盤調査工事	都市ガス	0	地質調査業者が地盤強度調査のためボーリングをしたところ、敷地内のPE管(75A)を損傷した。漏えいしたガスを閉止するためバルブを閉止した結果、48戸の供給支障となった。
9/13	東京	電気工事	都市ガス	0	宅内にて電気工事を行っていた業者が、ドリルで灯内内管(金属フレキ管10mm)を損傷させ、漏れたガスに着火。一部壁を焼損した。
9/13	東京	水道管工事	都市ガス	0	敷地内にて水道業者が削岩機(ピック)でPE管(30mm)を損傷させたもの。消防にて付近道路(幅5m、延長約50m)を交通規制した(18分間)。一部取り替えにて復旧措置済み
9/18	東京	建築工事	都市ガス	0	消防よりガス管に火が着いたとの連絡を受け現場出動したところ、コンクリート壊し作業中に灯外内管(ポリエチレン管30mm)を破損し、漏えいしたガスに着火したことを確認した。これにより、需要家宅の雨どい及び灯外内管の一部が焼損した。

9/19	千葉	下水道工事	都市ガス	0	敷地内の下水道工事中、工事施工者がピックにてコンクリートを研っていたところ、灯外内管を折損し着火した。出動した消防にて前面道路(幅11m、長さ77m)を実施した。
9/21	東京	下水管工事	都市ガス	0	他工事業者から下水管修理作業中にガス管を損傷したとの通報を受け出動したところ、当該マンションの埋設灯外内管の損傷とガス漏出を確認したため、当該マンションの引き込み管ガス遮断装置を閉止し、70件の供給支障となった。
10/7	東京	解体工事	都市ガス	0	消防より他工事によりガス管を損傷したとの連絡を受け確認したところ、消防にて前面道路(延長約35m、幅約5m)を交通規制していた(65分間)。掘削機の誤操作により灯外内管(白管25mm)を損傷したもの。
10/9	新潟	解体工事	都市ガス	0	閉栓需要家の建物外壁解体作業中に、ガスメーター立て管根元をグラインダーで切断したところガスが漏えいし着火したもの(未照会工事)。
10/9	千葉	敷地造成工事	都市ガス	0	敷地造成工事中に先行して埋設してあった灯外内管(PE管30mm)を折損しガスが漏出したため、消防にて付近道路(幅4.5m、延長120m)を交通規制した。
10/14	北海道	改築工事	都市ガス	2	改築工事を行っていた建築業者が、駐車場造成工事(掘削工事)を行うことをガス事業者に伝えなかったことから、埋設管の位置を示すことができなかった。建築業者が、掘削のためバックホーを使用中ガス管を損傷し、さらに当該ガス管を電動サンダーで切断しようとしたため着火し、2名が負傷を負った。
10/21	広島	改装工事	都市ガス	1	需要家敷地内にて他工事業者が電動ピックを使って作業中に灯外内管を損傷、漏洩したガスに引火し工事作業員1名が顔面に軽い火傷を負った。当該者は経過観察のため一泊入院。
10/25	静岡	電柱工事	都市ガス	0	他工事(電柱立替工事)において、オーガーにて中圧本管(アスファルトジュート巻鋼管100mm)を損傷(未照会)。消防・警察により周辺道路約300mを交通規制した。中圧路線上のバルブを閉止したことにより専用ガバナが設置してある3件(工業用2件、中学校1件)が供給支障となった。

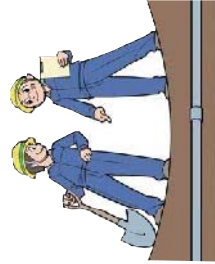
ガスパイプ損傷事故を防ぐための 3つのポイント

工事の前にガスパイプの位置をしっかりと確認。
作業員全員で情報共有し、ガスパイプ損傷事故を防ぎましょう。

Point 1

工事前にまず確認!

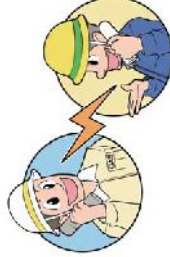
工事前にガスパイプ位置やガスが漏れていないことを確認。
ガスパイプ付近は特に慎重に手掘り等で作業する。



Point 2

不明な場合は ガス事業者へ連絡!

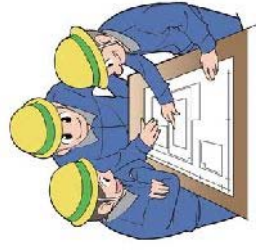
ガスパイプの位置や深さが不明な場合やガスパイプの撤去・移設工事が必要な場合。
その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



Point 3

情報は全員で共有!

ガスパイプの位置などの情報は、周囲などで作業員全員で情報を共有する。



ガスの事故がなくなると言う皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



ガスの安全見直し隊



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

工事に関するお問合せは

敷地内において 改築・解体・ 給排水工事の際は、 ガスパイプの確認を!



工事の前に
ガスパイプの確認、
忘れてませんか?

必ず
確認!





ガスの
あんしん
合い言葉

ちよつと待て! そのすぐ下には ガス管が!?

建物の改築・解体・給排水
工事などをはじめる前に
ガス管の位置確認を!

《工事の前に》

ガス管の位置やガスが通じていないことを
必ず確認してください。

《ガス管近傍で工事を行う場合》

あくまでも慎重に作業を進めてください。

《不明な点は》

ガス事業者にご相談ください。

《ガス臭いと感じた時》

火気や電動工具の使用を避け、
すぐにガス事業者に連絡してください。



敷地内他工事におけるガスパ損傷事故を防ぐために、ご協力をお願いします。